



## カトリーヌ10世 Catherine X

**PROFILE** グローバル化が進む  
社交界事情にも通じる。  
密かな趣味は人間観察とコスプレ。  
好きな飲み物はモンラッシエ。  
日本ではほとんど知られていない、  
ある小国の女王とのウワサも!?

ポンドのアンチテーゼとしてのハリ・パーマーの原型は、1962年にレン・デイトンが

を切り抜ける……。

労働者階級出身で否応なくスパイにならざるをえなかった普通の男。ポンドのように颯爽とはしておらず、高級品は身につけず、テンプルの太い黒縁メガネを掛けた地味なルックス。キザなセリフも言わず、敵を殺してしまつたら涙する。とはいえ、何気にしづとく、周囲に助けられてなんとか危機

を切り抜ける……。

しかし、ジェンダー感覚やハラスメント感覚をアップデイトしていかねばならない今、アンチ・ジェームズ・ポンドとして生まれたスパイ、ハリ・パーマーに要注目です。

## 英

国スパイといえばLEON  
読者のみなさんは真つ先に  
ジェームズ・ポンドを連想

04  
Lifestyle

男たちよ  
目覚めなさい

イラスト/ユリコフ・カワヒロ

「引きの姿勢が  
女性を動かす」  
「目覚めなさい」

書いた小説『イブクレス・ファイル』の主人公です。映画版ではマイケル・ケインが演じ、彼はこれを機にスターになりました。その後、「オースチン・パワーズ」がオマー・ジュを捧げ、「キングスマン」のハリーのモデルにもなりました。ハリ・パーマーは、英国スパイのもうひとつの流派の元祖なのです。

そのリポート版が「ハリ・パーマー 国際諜報局」(全6話)として「スターチャンネルEX」で配信されています。60年代映画風のもつさりした空気感のなかで、ぼんやりした印象のジョー・コールがハリーを演じます。最初は違和感のなかに投げ込まれますが、4話あたりからグイグイ面白くなります。今、反ポンドなパーマーが一周回って魅力的に見えるのは、フェアなジェンダー感覚。キザも気取りもなく弱さも見せるありのまま感が、時代感覚にフィットしているからでもあります。やはり一周回って妙にセクシーな引力があるのは、黒縁メガネのせいです。オクテっぽくミステリアスで頼りなく見えるゆえに、ヒロインのジーンでなくとも気がつけば引き込まれています。ちなみに衣裳デザイナーによれば、黒縁メガネはこだわりのポイントで、ロンドンのナイツブリッジにあるカトラリー・アンド・グロスのもの。

ポンド的に女性を口説けばセクハラ告発されかねないこの時世、「引き」の姿勢で女性を動かすというパーマー的な魅力を開発することに「目覚めなさい」。